

NUX MG-300 MKII User Manual

安全上のご注意

■表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。

■本機の裏ふたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■本機は湿気が多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。

■長い時間使用しない場合は接続を外してください。

■火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません

■本製品は FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠しています。このため本製品の操作を行う際には、以下の 2 つの条件に従います。(1) 本機器が有害な電波障害の原因となる可能性はないこと。(2) 不本意な操作による電波障害を含む何らかの電波障害を本製品が受けた場合、それを受け入れなければならないこと。

本取扱説明書は大切に保管してください。

製品の概要

MG-300をさらに進化させたMG-300 MKII。高度な技術と追加機能により、さらに豊かで汎用性の高いパフォーマンスを実現しました。MG-300 MKIIは練習、録音、ライブの為に全てを網羅するパートナーです。

MG-300からの進化

- より接続安定性の高いUSB-Cポートを採用。また、ヘッドフォン端子には TRRS対応のジャックを搭載しマイク付きのヘッドフォンにも対応します。
- TRRS対応のヘッドフォンジャックにヘッドセットを接続、スマートフォンとMG-300 MKIIを接続すれば簡単にオーディオ配信をする事も可能。マイクレベル、ノイズゲート機能も搭載しクリアな配信ができます。
- 独特な響きと豊かなサウンドスケープを生み出すシマリーバープを追加。
- エフェクトブロックとアンプブロックを並べ替える事ができるようになり、より多彩なサウンドメイクが可能になりました。
- 1つのプリセットに異なる3つのサウンドを保存できるプロ・シーン・セレクション機能を追加。

※ Quick ToneはNUXのHP (<https://www.nuxaudio.com/mg300mkii.html>)、MG-300 MKII 製品ページ下部Supportからダウンロードしてください。

※ Windows PCで使用する場合は、上記のNUX MG-300 MKII 製品ページからASIOドライバーをダウンロードしてインストールしてください。Mac OS では CORE AUDIO で対応可能です。ドライバーのインストールは必要ありません。

ご注意

他社メーカーの商標は、サウンドモデリングされたトーンを表現するための参考としてのみ使用されています。各社の商標または登録商標であり、NUXと関係するものではありません。

ファームウェアのアップデート

機能の追加 / 修正等を行う為、ファームウェアを更新することが有ります。最新のファームウェア情報は製品 HP をご確認ください。

PC と USB ケーブルで接続し、2つのフットスイッチを押しながら（押し込んだ状態のまま）電源を入れるとアップデートモードで起動します。アップデートモードで起動すると MG-300 MKII の画面に Device Firmware Update と表示されます。

NUX HP (<https://www.nuxaudio.com/mg300mkii.html>) 製品ページ最下部から、"MG-300 MKII Firmware (Mac or Windows)" をダウンロードします。ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので解凍してください。ダウンロードしたフォルダの「NUX Device Updater」を起動します。NUX Device Updater の「Select File」をクリックし、ダウンロードしたフォルダ内の BIN ファイル（～.bin）を選択。「Start Update」をクリックし、アップデートを開始します。Upgrade finished のポップアップが出たらアップデートは完了です。NUX Device Updater を終了し、MG-300 MKII を再起動（通常起動）します。

※ ファームウェアのアップデートに合わせて「Quick Tone」ソフトウェアも更新される場合があります。新しいファームウェアで古いQuickToneを使用するとうまく動作しない場合があります。必ず最新版をダウンロードしてお使いください。また、古いファームウェアで新しいQuickToneも動作しない場合があります。

※ 作成したユーザープリセットが削除される場合があります。QuickToneを使用し、EXPORT で PC にバックアップをとってください。アップデート完了後に保存したプリセットを Import する事ができます。

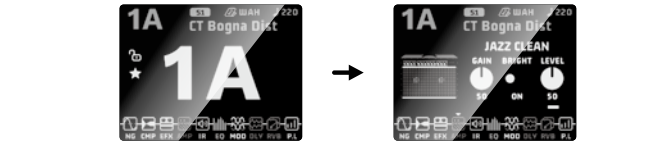
各部の名称と機能

FRONT PANEL



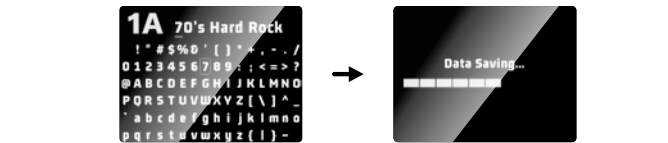
1. Edit / Exit Button

プリセットを選択するプリセットモードからプリセット内容を調整するエディットモードへ切り替えます。もう一度押すとプリセットモードに戻ります。



2. Save Button

変更したプリセットを保存します。Saveボタンを押し、UP/DOWN フットスイッチで保存場所を選択。Left & Right ボタンで変更する文字を選択し、Selectノブで文字を選択して名前の変更が可能です。もう一度Saveボタンを押して保存します。保存をやめる場合はEdit/Exitボタンでキャンセルできます。



3. Mode Button

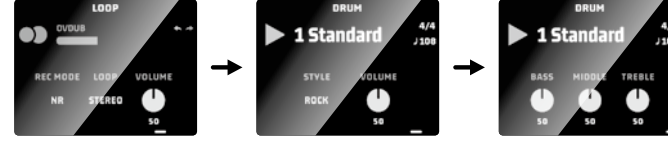
ボタンを押すとアウトプットモード画面へ移動します。接続する機器に合わせて5種類のアウトプットモードからSelectノブを回して選択します。ノブ1～3を使用してグローバルEQの設定も可能です。Selectノブを短押しするとグローバルEQをデフォルトセッティングに戻す事ができます。設定が完了したら、もう一度ボタンを押してプリセット画面へ戻ります。

- Studio Direct: ミキサー、アクティブ スピーカー、オーディオインターフェイス、ヘッドフォンへ接続する場合。
- Combo Front: コンボアンプの楽器インプットに接続する場合。
- Stack Front: スタックアンプヘッドの楽器インプットに接続する場合。
- Combo Rear: コンボアンプの FX Loop (Return)に接続する場合。
- Stack Rear: スタックアンプヘッドの FX Loop (Return)に接続する場合。



4. Jam Button

ドラム、ループ画面へ移動します。Pageボタンでドラムとループ画面を切り替えます。



ドラム

アップフットスイッチ▲でスタート/ストップを操作します。ノブ1～3を使用し、ドラムパターン、ドラム音量、EQを調整する事ができます。ドラムページ1でドラムパターンを選択します。ノブ3でSTYLEを選び、その後、ノブ2でドラムパターンを選択します。

Selectノブを回してテンポを設定します。Tapボタンを2回以上連続で押す事でタップでテンポを設定する事も可能です。

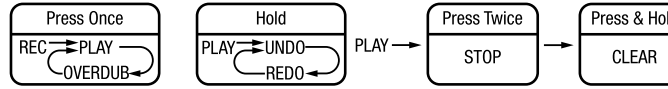
※ ループ使用中はテンポの変更は出来ません。

ループ (ルーパー機能)

ダウンフットスイッチ▼で操作します。（下図参照）ノブ1～3を使用し録音モードの切り替えや、STEREO/MONO切り替え、フレーズループ音量を調整する事ができます。

※ STEREOで60秒、MONOで120秒の録音が可能です。

※ ループ使用時は録音モード、STEREO/MONOの切り替えはできません。



フットスイッチ▼を押すと録音が始まります。再度フットスイッチを押せば録音は停止されます。録音されたトラックは繰り返し再生されます。再生されている時、再度フットスイッチを押せば、新たなトラックが録音されます。（オーバーダビング）

2つ以上のトラックをオーバーダビングした後、フットスイッチを1秒間長押しすれば最後に録音されたトラックのみ停止します。

ループ再生時、フットスイッチを2度押しすればループ再生が停止します。

ループ再生が停止している状態でフットスイッチを1秒間長押しすれば録音されたループは消去されます。

録音モード NR(Normal Recording)/AR(Auto Recording) の切替

NR: フットスイッチ▼を押すとRECを開始します。

AR: フットスイッチ▼を押すとREC待機状態となり、演奏を始めるとインプット信号を感じし自動的にRECを開始します。

5. Tap Button

ボタンのタップでディレイのSUB D. のBPM設定や、ドラムのテンポを設定する事ができます。

6 & 12. Pedal Button & EXP Pedal

エクスプレッションペダル（EXP）の割り当てを設定します。EXPはOFF時、ボリュームペダルとして機能します。深く踏み込むとペダルがONになり、割り当てた機能で使用する事ができます。もう一度踏み込むとOFFになります。

WHA: ワウフィルターをコントロール。

EFX: 選択しているエフェクターのGAIN(DRIVE) やVOL.を設定。

AMP: アンプのGAINを設定。※ STAGMAN AMPでは使用できません。

MOD: モジュレーションエフェクトのパラメータを設定。

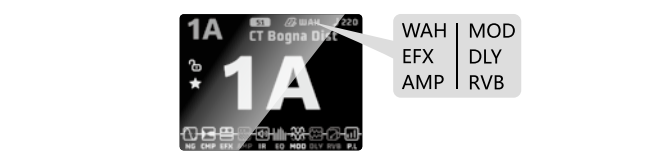
※ 選択するエフェクターにより設定されるパラメータが異なります。

DLY: ディレイエフェクトのパラメータを設定。

※ 選択するエフェクターにより設定されるパラメータが異なります。

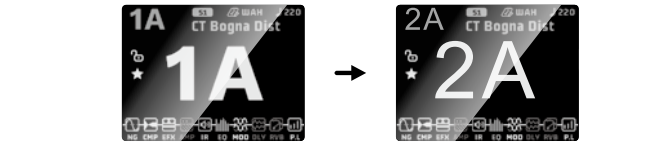
RVB: リバーブエフェクトのMIX量を設定。

※ 割り当てているシグナルブロックがOFF(Bypass)の場合ペダルは機能しません。（WHAはペダルの割り当てのみで使用が可能です。）

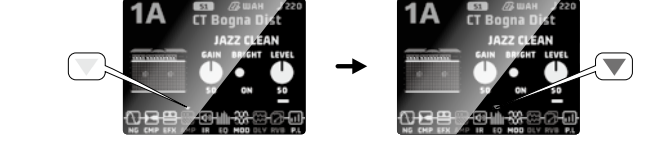


7. Left & Right Button (◀ ▶)

プリセットモードでは1～9のパッチグループを素早く選択する事ができ、移動時には数字が点滅します。選択したいパッチグループまで移動したらアップフットスイッチ（▲）を押して決定します。決定するまで音は変わらず、点滅時にダウンフットスイッチ（▼）を押すと今のプリセット表示に戻ります。



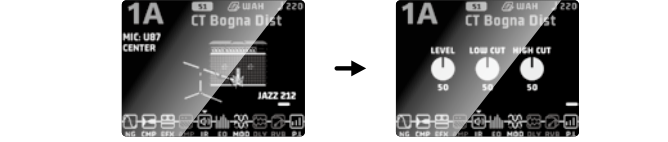
エディットモードで押すと水色の▼が移動し、設定を変更したいシグナルブロックを選択できます。移動したいシグナルブロックに水色の三角を合わせてSelectノブを長押しすると▼が赤色に変わり、Left & Rightボタンでブロックの移動（並べ替え）が可能です。移動後にもう一度Selectノブを押すと▼の色が水色に戻り移動が確定します。



※ AMPブロックとIRブロックは一緒に移動し、この2つを並び変える事はできません。

8. Page Button

エディットモードでエフェクトブロックに複数のページが有る場合は、ボタンを押してページを切り替えます。



9. Select Knob

プリセットモードではノブを回してプリセットを選択し、押して決定します。決定するまで音は変わりません。エディットモードではノブを押してシグナルブロックのON/OFF(BYPASS)の切り替え、回して選択しているブロックで使用するアンプやエフェクターを変更します。

10. Knob1～3

エディットモードでは各アンプ、エフェクターのパラメータ調整に使用します。

プリセットモードではノブ1を回すとヘッドフォン音量（-∞ ～ +12dB）、ノブ2を回すとアウトプットの音量（-24dB ～ +12dB）の調整が可能です。

11. Foot Switches

プリセットモードで、アップ▲(DRUM) / ダウン▼(LOOP) スwitchでプリセットやシーンを切り替えます。また、ルーバーのコントロールやドラムのプレイ/ストップにも使用します。

Tuner Mode

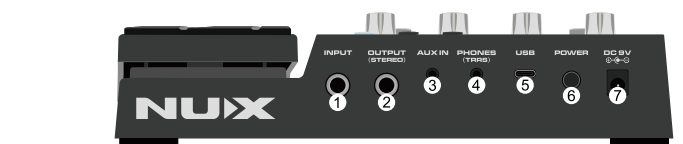
アップ/ダウンフットスイッチを同時に押すと、チューナーモードに切り替わります。ノブ3でA4を設定し、Selectノブを押してミュート設定を切り替えます。Selectノブを回してCHROM.（クロマチック）、G STD（ギター スタンダード）、G CPS（ギター コンベンセイティド）からモードを選択します。チューニングが完了したらアップ/ダウンフットスイッチを同時に押してチューナーモードを終了します。



G CPS チューニング

ジェームス・テイラーのチューニング・スタイルにインスパイアされたモード。各弦のチューニングを数セント下げることで、アコースティックギターの響きを引き出します。

REAR PANEL



1. Input

6.35mm(1/4-inch) モノラルインプットジャック。楽器用ケーブルを使用し楽器を接続します。

2. Output

6.35mm(1/4-inch) ステレオアウトプットジャック。アンプなどを接続します。アウトプットモードの詳細は"Mode Button"の項目で確認して下さい。

3. Aux in

3.5mm(1/8-inch) ステレオミニジャック。音楽プレーヤーなどの接続が可能です。GLOBAL SETTING でボリューム調整もできます。

4. Phones

3.5mm(1/8-inch) TRRSミニジャック。ヘッドフォンやTRRS端子のヘッドセットを接続します。GLOBAL SETTING でマイクのボリューム、ノイズゲート設定が可能。

5. USB-C Port

PCやスマートフォンと接続し、ソフトウェアでサウンドのカスタマイズ、プリセットの保存が可能です。

また、ファームウェアの更新やオーディオインターフェイスとして使用するのができます。接続にはデータ通信可能なケーブルをご利用ください。

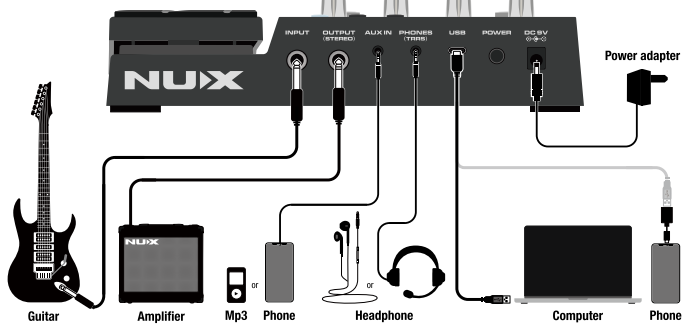
※ スマートフォンに接続する際はOTGケーブルが必要な場合があります。スマートフォン側の端子がUSB-Cの場合OTGケーブルが不要な場合も有ります。

6. Power

MG-300 MKII の電源をON/OFFします。

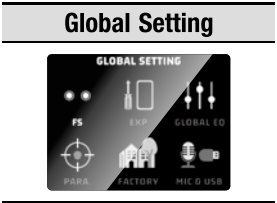
7. DC 9V

付属のACアダプター(ACD-006A)を接続します。(DC9V, 500mA, センターー)

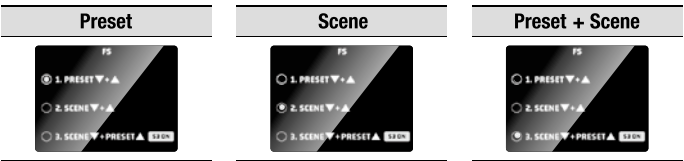


GLOBAL SETTING

Edit/ExitボタンとSaveボタンを同時押しする事でシステムメニュー画面へ移動します。Selectノブを回すかLeft & Rightボタンでメニューを選択し、Selectボタンを押して各メニュー画面へ移動します。Edit/Exitボタンを押すとシステムメニュー画面へ戻り、もう一度押すとシステムメニューを終了します。



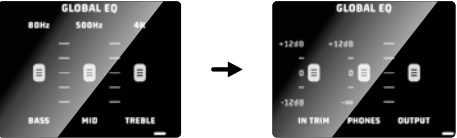
FS
2つのフットスイッチの機能を設定します。ノブ1を回して選択します。
1. PRESET: プリセットのアップ/ダウンに設定します。
2. SCENE: シーンのアップ/ダウンに設定します。
3. SCENE+PRESET: ダウンフットスイッチでシーンをダウン、アップフットスイッチでプリセットをアップします。
3 選択時にノブ2を回すとシーン3（S3）のON/OFFを切り替えます。S3をOFFにするとS1→S2→S1と2つのシーンで切り替える事ができます。



EXP
EXP IndependentはEXPのON/OFFをプリセット移動ごとにOFFにするか、現状を維持するかを選択できます。OFFの場合はEXPがONになっていてもプリセット移動するとOFFに、ONの場合はONのままとなります。EXPペダルのキャリブレーション（ペダルの可動域の調整）を行う際は、EXP画面でアップフットスイッチ▲を押し、画面の説明に沿って実行してください。



GLOBAL EQ
入力トリム、ヘッドフォンとアウトプットの音量、EQなど全体的なサウンドを調整。ノブ1〜3、Pageボタンを使用して変更します。



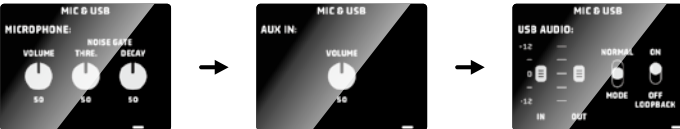
PARA. (PARA.FOLLOW)
PARA.FOLLOWをONにすると各エフェクターのパラメーターを記憶し、次回同じモデルを選択した際に前回設定したパラメーターを呼び出します。OFFにするとデフォルトのパラメーターで呼び出されます。Selectノブを回してON/OFFを切り替えます。

FACTORY
Selectノブを回して「FACTORY RESET」、「HARDWARE INSPECTION」を選択し、SAVEボタンを押して実行します。

FACTORY RESET:
プリセットや設定を工場出荷時設定に戻します。
終了したら電源を入れ直してください。
※ 変更したプリセットが全てリセットされます。
残しておきたいプリセットはPCソフトウェアを使用してPCへ保存してください。

HARDWARE INSPECTION:
機器が正常に動作、接続されているかを確認する事ができます。また、ファームウェアのバージョンも表示されます。確認が終了したら電源を入れ直してください。

MIC & USB
マイクとUSBの設定、Aux inボリュームを調整します。Selectノブ、ノブ1〜3、Pageボタンを使用して変更します。



サウンドメイク
新しいサウンドを作ったり、プリセットされた既存のサウンドをカスタマイズする事はとても簡単です。Edit/Exitボタンを押した後、Left & Right ボタンを左右に押し調整したいシグナルブロックを選択します。Selectノブで使用するモデルを選択。ノブ1〜3で各パラメータを調整します。

P.L (パッチレベル)
シグナルブロックの最後に有り、各プリセットごとにレベルの微調整が可能です。また、ボリュームペダルの最小値、最大値の設定もできます。

プリセット
MG-300 MKIIには各1A〜9Dのユーザープリセット、ファクトリープリセットが有ります。出荷時2つのプリセットに同じ物が保存されています。全て白色で表記されているプリセットがユーザー、上側のプリセット名が灰色で表示されているプリセットがファクトリーとなっています。作成したプリセットはユーザープリセットに保存されます。ファクトリープリセットは上書き保存や変更はできません。

IR
キャビネットIRでマイクのイラストが表示されるモデルはマイクの変更が可能です。ノブ1でマイクの種類、ノブ2でマイクの位置を変更できます。（マイクの設定が無いモデルも有ります。）

AMPとIR
AMPを変更すると自動的にキャビネットIRも変更されます。キャビネットIRを変更したい場合はAMPを決めた後にIRを変更してください。

シグナルブロックに関して
エディットモードで下記 3 つのシグナルブロック上で Selectを3秒以上長押しすると他のシグナルブロックとして使用する事ができます。「CMP→EFX」、「EFX→MOD」、「RVB→DLY」。例えば、EFXのエフェクトを 2 個同時に使用する事ができます。もう一度長押しすると元のエフェクトブロックに戻ります。

シグナルブロック並べ替えをする際、AMPとIRの位置関係を変更する事は出来ません。AMP (IR) ブロックを移動するとIR (AMP) も一緒に移動します。IRブロックにはQuickToneエディットソフトウェアを使用してサードパーティーIRを読み込むことができます。パッチ毎に1つの保存が可能です。(user slot) また、IR COLLECTION (24スロット) に予めIRデータを保存しておくことで、PCに接続しなくても保存しておいたIRデータをuser slotに呼び出して使用する事が可能です。

※ ファームウェアのアップデートにより、使用できるエフェクトや機能などが追加、変更となる場合があります。

QuickToneエディターソフトウェア
NUXのHP MG-300 MKII製品ページ(<https://www.nuxaudio.com/mg300mkii.html>)からダウンロードが可能です。ファイルは圧縮されていますので展開してください。こちらのソフトはインストールは必要ありません。このソフトウェアでは、プリセットの調整はもちろん、IRデータのロード、プリセットのエクスポート&インポート、各種セッティングが可能です。



Specifications

Sampling Frequency: 48KHz
ADConverter: 32bit
Frequency Response: 20Hz-20000Hz +1dB
THD+N: <1%
Dynamic Range: 106dB
Input: +8dBu
Output: +8dBu
Power: DC 9V
Dimensions: 241(L) x 160(W) x 49(H) mm
Weight: 760 g

付属品: ACアダプター（ACD-006A）、USB-A - USB-C ケーブル、マニュアル兼保証書（本紙）

※ 仕様は予告なく変更となる場合があります。

ご注意
MG-300をご使用の際は、付属の9Vセンターマイナスのアダプターを使用してください。ご使用されない時は楽器ケーブル及びアダプターを外して下さい。

保証書その他

- 万一、保証期間内(お買い上げ1年以内)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げ店を通じ弊社にこの保証書を添えてお申付け下さい
- 必要事項が明記されていない場合は保証が実行されないことがございますのでご注意ください。なお、本書は再発行しませんので大切に保存していただけますようお願い申し上げます。

免責事項について
下記の場合は保証の対象とならず、有償修理となりますのでご注意ください。
1) 本保証書がない場合、また、記載内容に不備がある場合
2) 取扱説明書に記載された内容以外の原因により不備が発生した場合
3) お買い上げ後の使用上の誤り、改造、輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
4) 火災、地震、水害、落雷などの想定外の災害などによる故障及び損傷
5) 消耗品の交換
6) 日本国内以外での使用

- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書につきましては、万が一不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

NUX（ニューエックス）輸入販売元 荒井貿易株式会社

<http://www.ariaguitars.com/jp>

〒464-0077 愛知県名古屋市中種区神田町12-2 荒井貿易株式会社